

NEWSLETTER

No111819

ハンドについて述べます。

記号に付する表示に付している
と思いがその意味と操作
性と意識に下す。

ハンドとはオペレーションのタイプ(型)です。

これまで紹介したハンドのタイプを一般化した記号を以下に掲げます。

ハンドはこのように記号で表します。記号で表示し数式のように扱うことで数値の変化に合わせた操作がし易くなるだけでなくハンドのそれぞれの意味と関連性が分かるようになります。

(S)にバリューチェーンのSの数値を当てはめます。

C、PはそれぞれバリューチェーンのCとPです。

バリューは個々のハンドについて@()としてオペレーションの実行後に記入します。

(y)はエクスパイアの期日(月)が同じハンドの組合せ、(x)はエクスパイアの期日(月)が異なるハンドの組合せの意味です。

-1は数量1単位のマイナスオペレーションを表しています。一方、+1は数量1のプラスオペレーションを表しています。-1と+1で比率が1:1であることを示しています。ハンドの-/+の比率を変更することは可能ですが、1:1を基本にします。

- 10C-1/(S)P-1 (y)
- (S)C-1/(S)P-1 (y)
- (S)C-1/(S)P+1 (y)
- (S)C+1/(S)P-1 (y)
- (S)P+1/(S)P+1 (x)
- (S)C-1/(S)C+1 (x)

(S)には「atom」等は値に
近い数値が入る
1:1 → 2:1 → 3:1 等の比率
の変更は可能。

上記のハンドのタイプのそれぞれについて解説しますが、まず、(y)と(x)に着目してください。それは以下のハンドテーブルを見れば分かるはずですが、そのテーブルに保有しているハンドを入れてご覧ください。

(y)

					[04]
				[03]	
			[02]		
		[01]			
	[12]				
[11]					



(x)